



# はばたき

第66号 **【春号】**

発行 一般社団法人日本経営管理協会神奈川県支部  
編集責任者 神奈川県支部長 宮原 汎  
編集長 神奈川県副支部長 石原愛子  
TEL: 090-8041-9125 e-mail: ishihara-a@jima.org

## ワークスタイルの変革

### ～業務改革やIT改革の 見た実現方法について～

講師：下村 宏（神奈川県支部）



2017年12月16日（土）万国橋会議センターにおいて、神奈川県支部定例研修会が行われた。現役のコンサルタントである下村宏先生（神奈川県支部会員）より、具体的な事例発表があり大変充実した内容で参考になった。質疑応答も活発に行われた研修会だった。

#### ワークスタイル変革とは新しい 考え方？

「ワークスタイル変革」が巷間盛んに言われるようになってきているが、以前よりその時々の技術革新がけん引役となって「人」の仕事のやり方は絶えず変化してきている。

#### 「ワークスタイル変革」と称する世の中の動き

昨今の「ワークスタイル変革」に関する取り組み事例から見ると、効率化のみならずイノベーションをもたらすものとしての期待が大きい。

しかしニーズは感じているものの実施もしくは実施中の割合はまだ多くなく（1/3程度）、阻害している要因は人事・労務に関する懸念、時間管理・業務管理の難しさや評価の難しさにある。

ワークスタイル変革は、個人の側面に焦点を当てたもの、組織の側面に焦点をあてたものの両面があるが、定義が定着している状況には至っていない。

変革の目的は、費用削減というよりも、人材の維持・獲得やイノベーションの創出に重きを置いている。

本日の発表においては、政府の働き方改革とい

うよりは、ITによる変革を主眼に説明した。その前提として情報技術の発展について説明した。

変革を行う企業側は、大別すると4つのカテゴリーにくり分けることができる。

- ① 全社コミュニケーションの変革（モバイル端末、TV会議）
- ② 特定業務合理化（RPA、営業モバイル端末、ワークフローなど）
- ③ 作業環境の変革（テレワーク、フレックスタイム）
- ④ 情報を活用した業務付加価値向上（ERP、意思決定支援、ナレッジデータベース）

変革サービスを行う企業は、IT企業、コンサルティング会社があり、システム製品の販売や変革コンセプトの提供を行っている。

#### 「ワークスタイル変革」を実現するアプローチ

ワークスタイル変革の実例として、大手流通業における事務効率化プロジェクトを紹介。

シェアドサービスセンターへの業務集約と人員再配置事例を説明した。

改革はトップダウンアプローチに則り、できるだけシンプルな変革目標を設定し、プロジェクトメンバーや社員に徹底することが必要である。

# 2018年神奈川県支部定例研修会

1月

## 働き方改革、ブラック企業、ブラック社員

講師：山田宏昌

安倍内閣の目玉政策の一つである「働き方改革」の具体案がいよいよこの通常国会で審議される。色々と問題を抱える政策であるが、労働問題の専門家である山田宏昌先生（社会保険労務士）に関連事例も含め詳しく解説。

(講演の要旨のみ)

### 1. 政府が提唱する代表的な「働き方改革」から報告 長時間労働の是正

政府は罰則付き時間外労働の上限規制に関して来月の通常国会に提出する予定がある。

#### 同一労働同一賃金の実現に向けて

日本的な「雇用システム」（能力に応じた待遇）を欧米型の「職務システム」（仕事内容に応じた待遇）にシフトする狙いがあるのか。

### テレワーク、勤務間インターバル制度、副業・兼業などの柔軟な働き方の環境整備

①テレワーク：情報通信技術（ICT）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。②勤務間インターバル制度（来月の通常国会提出予定）③副業・兼業など柔軟な働き方の環境整備

### 2. ブラック企業、ブラック社員

「ブラック企業」の定義および「ブラック企業」の見抜き方を解説。「ブラック企業」の社名は公表され、2017年11月30日の公表企業は462社であった。また、「ブラック社員」についても言及した。

2月

## 経営学の各論を現場につなぐ技術

講師：関町 肇

経営学の各論を現場でマネージャーが活用しようとするとき、現場にその理論を説明するだけでは直には実施につながらない。現場に落とし込むつなぎのスキルが必要である。私はこのつなぎのプロセスのスキルは体験的に四つあると考えている。これらのスキルについての「報告」と併せて学び方について「問題提起」をしたい。(講演の要旨のみ)

私は経営現場の体験としてマネージャーにとって「つなぎ」のプロセスに4つのスキルがあると考えている。一つは「チーム作り」である。チームが本音で話し合える活性の高いチームを作ることである。これは体験スキルとはちょっといいがたいのだが心理学領域の「マイヤーブリックスのタイプインデキーター」を活用してメンバー相互間の心理的距離を縮めることによって成功している。第二に「社内問題は先取りして共有化すること」。マネージャーとしての先見性を示しメン

バーに共感を持たせることである。「四つの黄金の質問」\*を活用し機会あるごとに全員参加で気づき・意見を出し合い結果を共有しあう。第三は「戦略問題は環境の変化を十分に洗いだして共有化する」。戦略の質は環境変化の認識の適否で決まる。重要な見落としや誤りあれば社内の支持が得られないばかりか重大な結果につながることもなる。信頼のリソースである。第四、「マネージャーの立場で経営を一基通貫で発想する」。現場では一つの課題に没頭すると本来手段であるものが目的となり独立化し硬直化する。マネージャーとして課題を進めているとき、常に<目的・戦略、計画、実行>の一連のプロセスの要素と順序で発想し各々の要素との整合性をチェックする習慣をつけることである。

春号特集

# 私の心に残った歌や音楽



**宮原 汎**

**「美しき青きドナウ」(作曲:ヨハン・シュトラウス)**

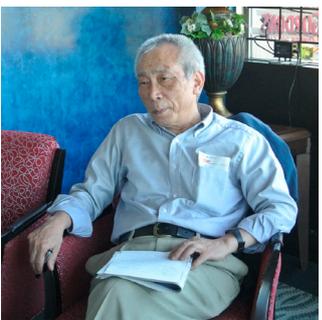
昨今では、カラオケでの音楽に接することが主流で、クラシック曲に接する機会は殆どないが、高校時代から大学卒業まで籍をおいたコーラス部(混声合唱団)で音楽を楽しんだものだ。そこで、よく口ずさみ、最も印象深く残っているのが、ヨハン・シュトラウスの邦題『美しき青きドナウ』(英語名:The Blue Danube)である。この曲は、シュトラウスの故郷・オーストリアで“第二の国歌”と呼ばれるほど、世界的に有名で、学生時代を思い起こさせるだけでなく、多くの人々の心をひきつけている。できれば、学生合唱団が歌う曲を再び耳にしたいと願っている。



**山田宏昌**

**「ピアノ協奏曲第1番変ロ短調」(作曲:ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー)**

遠い昔の学生時代。友人の音大生からコンサートに誘われた。クラシックにはほとんど無関心だったのに、聴いた曲がチャイコフスキー「ピアノ協奏曲第1番変ロ短調」であった。重厚さの中にテンポのよい明るさもあって、クラシックっていいなと初めて感じた瞬間だった。それがきっかけで、クラシックも好きになり、その後パッヘルベルの「カノン」、アルビノーニの「アダージョ」などにも出逢えた。ベッドに入ってからひたすら音楽を聴きたいときはクラシックがいい。あのピアノ協奏曲第1番とは長い付き合いになる。



**石井 渙**

**「トッカータとフーガ540番」(作曲:ヨハン・ゼバスティアン・バッハ)**

高校生のころ学校をさぼって馬車道の東宝会館で観た洋画「死んでもいい」で流れたバッハの「トッカータとフーガ540番」。延々と繰り返す単調な通奏低音が頭に残り、少し経ってからバロック音楽のファンになる。今も自分の小部屋では一日中バッハが鳴っている。ちなみに、アマゾンで調べると、ギリシャ悲劇「フェードラ」を下敷きにした1962年の米国作品。主演メリナ・メルクーリ、アンソニー・パーキンス、ラフ・バローネ という豪華版。ストーリーは妖艶な義母と息子の不倫の話ではあった・・・すこし恰好の付け過ぎと家内に云われそう。



**石原愛子**

**「ムーンリバー」(作曲:ヘンリー・マンシーニ)**

幼少期にクラシックピアノを習っていたが、それからウン十年ピアノには一切触れていなかった。しかし、60歳になった時に「自分のしたいことをする」を実行に移そうと思い立ち、その一つがジャズピアノを弾きたいという思いだった。一昨年、ジャズピアノを習い始め、ジャズとして最初に弾いた曲が「Moon River」である。そして、ピアノだけにとどまらず、最初の弾き語りとして歌とピアノを披露した思い出深い一曲でもある。『ティファニーで朝食を』の主演女優のオードリー・ヘプバーンが劇中で歌った曲でもあり、憧れの曲は日常の暮らしを豊かにしてくれた。

# 小田原城 吟行

## 俳句を詠む



恒例となりました神奈川県支部の吟行を3月31日(土)に小田原城で行いました。当日、小田原城址公園では「第22回小田原かまぼこ桜まつり」が開催されており、満開の桜のもと、大賑わいの様子でした。今年には雲一つない晴天の下、満開の桜を眺めながら気持ち良く小田原城苑内を散策いたしました。絶好の吟行日和となりました。ここ数年の吟行の中で、桜の満開日が吟行と重なり、参加者からはすばらしい俳句をいただきました。

当日参加されない支部会員からも投句いただきました。

早雲も愛でし桜か城に舞ふ  
ファーストネーム桜の下の語り合ひ  
幹からも噴き出て一輪桜かな

山田宏昌

花に城おそるおそるの初吟行  
ゆく春を迎え入れたや馬出門うまたしもん  
ゆく春に返せ戻せや天守閣

関町 肇

小田原の観桜さくら友思いにしえ  
古の歴史をしのび花めぐる

石井洋子

百歳の母桜に顔を押しす如し  
山桜澄み渡る空ヒップホップ  
病む孫といつか見たし桜道

山田洋子

川岸でふきのとうの背比べ  
満開の桜を愛でる人の群れ  
陽光に桜きわだつ掃部山

宮原 汎

レンギョウと桜花と競うかなめもち  
今日限り咲き咲くさくらの凄まじく  
みだれ咲くさくらよ明日の花吹雪

石井 渙

母を座す夢幻まぼろしや花の昼  
散る花や別れ話を一つのせ  
山桜白亜の城に向ひをり

照屋行雄

一城の歴史を囲む桜かな  
春まつり朱の欄干に硬さあり  
真青なる空満開の桜さくら

石原愛子

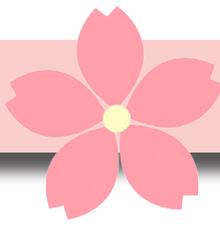
川柳  
吟行とシャレてはみたが手には酒  
ヒコ坊

### 神奈川県支部研修スケジュール (2018 年度)

日時	研修内容	研修場所
5月26日(土) 14:00～17:00	製造業における「生産性改革の実践」～リーダー育成の定石：基礎編～ 講師：南波正司	万国橋会議センター
6月16日(土) 14:00～17:00	神奈川県支部総会 研修会講師：諏訪部栄亮	神奈川近代文学館
7月28日(土) 14:00～17:00	時流を斬る 講師：石井 渙	神奈川県民センター
8月25日(土)	ゆる～い談話 with beer	関内駅付近 (予定)

# 吟行 & 懇親会写真

撮影：石原愛子



天守閣のてっぺんまで歩いて登りましたよ～(^^);



城址公園の入り口。桜のお出迎えです!(^^)!

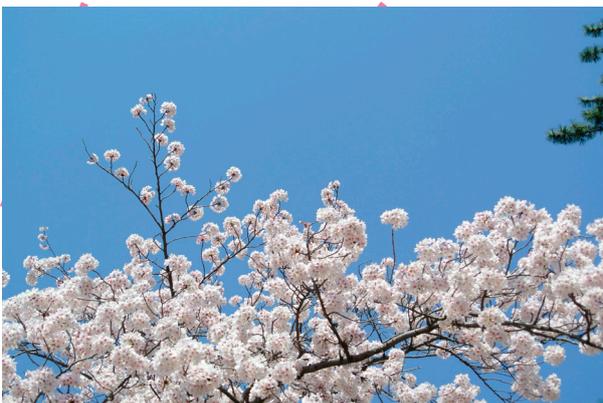
## 小田原城 吟行



平成の大改修！小田原城は美しく生まれ変わりました



参加者と笑顔でパチリ！若杉会長もご参加いただきました!!



満開の桜。絶好のお花見日和・吟行日和です！



小田原城の天守閣から眺めた景色はお見事。城主になった気分です(^^)!

桜の美しさに酔いしれましたが、吟行の後は、ビールで乾杯です！



美しく、楽しい一日でした。  
お疲れ様でした！